

地域で頑張る皆さん



かとう しげこ
加藤 重子 さん

71歳（勿来町窪田在住）
・コスモス会 リーダー

加藤さんは定年後に「何かをやりたい」という強い思いから「コスモス会」を立ち上げました。会のリーダーとしてメンバー間の調整を行い、現在ではシルリハの講師と協力しつつ活動をしています。

「健康のために身体を動かさないと」という強い思いを持ち、その中で楽しみながら地域での活動を続けています。インタビューをしている中で、地域で頑張る加藤さんの姿をみるとこちらも頑張っていこうという気持ちになりました。



コスモス会の様子



さがわ なおふみ
佐川 尚文 さん

49歳（平在住）
・ふれんずトトロ 会長

ふれんずトトロは、知的障がいのある人が集まって、お花見やカラオケなど毎月いろんな活動をしています。当事者の全国大会で、全国の仲間と交流するのも楽しみです。

です。韓国で発表もしました。会員のみんなはそれぞれ性格が違うけど、とてもいい人ばかりで助け合って行動しているから、とてもいいグループだと思います。差別のない地域社会になってほしいと願っています。



ふれんずトトロお花見

地域福祉ネットワークいわき 平成30年度通常総会 開催報告

平成30年5月23日に通常総会が開催され、全ての議案が承認されました

29年度事業報告（抜粋）

地域包括支援センター関係機関、団体との連携強化（抜粋）

- ・地域包括ケアシステムの実現に向け、行政、社会福祉協議会、地区住民等と連携し小地域ケア会議を開催した。46力所 67回（写真①）
- ・個別事例について関係多職種で協議する「個別ケア会議」を開催し、個別の課題と解決策や地域課題の抽出を行った。27件 30回
- ・地区内の介護支援専門員等と共に、医療と介護の連携強化に向けた勉強会や交流会を開催した。33回（写真②）



① 地域ケア会議の様子（常磐）



② 勉強会の様子（四倉）



③ 地域会議の様子（小名浜）



④ つどいの場の説明の様子（平）

障がい者相談支援センター（抜粋） ～地域単位でのネットワークづくり～

総会

障がい者本人の生活圏域を基本に、地域の課題を捉え協議検討し、社会資源の整備等を図るため、利用者の支援や事業者間で顔の見える関係をつくり、情報交換や連携を行った。（写真③）



理事長挨拶



総会の様子

つどいの場創出支援事業（抜粋）

誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動が地域に展開され、参加者やつどいの場が継続的に拡大していくような地域づくりを目指した事業。コーディネーター5名が、地域資源の整理、コーディネート支援、はたらきかけ支援等を行った。（写真④）

独自事業の実施状況

身元引受（身元保証）・連帯保証事業は、現在の契約者が4件。高齢者や障がい者本人の意思の尊重とその実現に向け、市や関係機関、団体と事業の拡大に向けて話し合いを行った。

会員募集！

当法人では活動にご理解とご賛同をしてくださる会員（正会員・賛助会員・協力会員）を募集しています。

会員として地域福祉に関するご意見・ご提案をお寄せください。詳しくは法人事務局（☎68-7612）まで！



事務局長コラム

学生時代の仲間たちと久しぶりに集い、思い出話に花を咲かせた。懐かしい顔顔。時間の経つのを忘れ楽しいひと時を過ごした。でも、ほんとは、昔話ではなく、今と未来の話がしたかったな。40年前と同じように。

NPO 法人地域福祉ネットワークいわき



2018
第19号
[yui]

あなたを包む 優しい光になりたい…

「NPO法人地域福祉ネットワークいわき」は、高齢者や障がい者をはじめとした誰もが自らの意志により、どこでどのように暮らすか（暮らしたいか）を決め、実践することのできる地域社会の実現を目指していきます。私たちの組織は平成19年よりいわき市地域包括支援センター業務を、また平成29年よりいわき基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センター業務を運営しております。

発行：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき
編集：NPO法人 地域福祉ネットワークいわき広報委員会
〒970-8026 福島県いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター3階）
TEL.0246-68-7612 FAX.0246-21-7618
✉ yui@npo-fukushinetiwaki.com
🌐 http://npo-fukushinetiwaki.com/

ご感想は
こちらまで

平成30年度事業計画（抜粋）



1 基本方針

- （1）常に、法人の目的を心に留め、それぞれの立場で目的実現向け全力で取り組む。
- （2）高齢者・障がい者本位を全ての基本とする。
- （3）各自研鑽を積み専門性の向上に努めるとともに、組織の内外を問わず多職種との役割分担・連携による総合力をもって業務にあたる。

2 地域包括支援センター運営事業

- （1）総合相談支援業務
 - ① 各種相談や関係者から寄せられた情報等にチームを中心として適切に対応する（あらゆる相談にチームで対応）。他
- （2）権利擁護業務
- （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援
- （4）介護予防ケアマネジメント
- （5）地域ケア会議
- （6）地域ネットワークづくり
- （7）認知症対策の推進
- （8）その他

3 障害者相談支援等事業

【基本方針】

- （1）障がいの種別に関わらず、障がい者等の生活上の諸課題について障がい者の立場で相談に応じ、必要な情報の提供や助言、各種サービスの利用支

- 援、障がい者の権利擁護など必要な支援を行う。
- （2）障害福祉サービス事業者等からの障がいに関する総合相談・専門相談及び相談支援体制強化の取り組みなど、地域における相談支援の中核的役割を担う。
- （3）個別支援等から明らかとなった障がい者福祉にかかる諸課題について関係者と連携し解決につなげるなど、障がい者本人が自らの意思で暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指す。

4 つどいの場創出等支援事業

市及び社会福祉協議会等と連携し、事業の適切な運営支援に取り組む（定例会、未設置地区への働きかけ等）。

5 法人独自事業

- （1）身元引受（身元保証）・連帯保証事業
高齢者や障がい者本人の意思の尊重とその実現に向け、事業内容及び対象者の拡大を図る。等
- （2）通所介護事業

自分でトイレへ行く、入浴する、掃除する、調理をする、洗濯を干すといった日常生活における活動の維持・継続を主目的とした通所介護事業を実施する。他

2018年も地域の皆様と共に歩んでいきます

～ 中央台サブセンターが開所しました ～

～ チーム全体で、その人らしい生活を支えられるように ～

- ①地域のための頼れる専門家である、地域内のケアマネジャー事業所と連携して、地域の皆様に支援していけるような体制づくりを行います。
- ②高齢者虐待を予防できるような見守りネットワークをつくりまします。
将来に備えて今からできることを地域に出向き啓発していきます。
- ③若年性認知症の方が地域で生活するために必要なことは何か考えていきます。今年度は、ご本人や関係者の方からお話を伺いたいと考えています。



市役所本庁舎1階
平地域包括支援センター ☎22-1174

平地域包括支援センター（中央台サブセンター）

中央台、郷ヶ丘など相談ニーズの増加に伴い、サブセンターを開設しました。職員が地域の皆様へ訪問する移動時間の短縮につながり、より多くの相談に対応できるよう充実を図っていきます。
今年度は地域の皆様へ、サブセンターのことを知っていただけるよう広報活動に力を入れています。ログハウスの建物には、心とむ、穏やかな相談空間や、市民が会議を開催できるよう地域交流スペースがあります。
お気軽にお越しいただき、所内の雰囲気をご覧ください。



担当地域：中央台、郷ヶ丘、自由ヶ丘、若葉台、山崎、菅波、荒田目、鶴ヶ井、下高久、大越、藤間、神谷作、山口、沼ノ内、薄磯、豊間

連絡先：中央台高久二丁目11-2（中央台東郵便局隣）☎38-5831

～ 自分らしく暮らせる町常磐・遠野地区を目指して ～



常磐・遠野地域包括支援センターでは、年間およそ500件の相談が寄せられます。その中でも認知症や身寄りがなく、今後の生活に不安を抱えた高齢者など支援が必要なケースが増えています。高齢者の皆さまが、「自分らしく地域で暮らせる」ために、「意思決定支援」の必要性を感じております。今年度も、行政をはじめ各関係機関と連携し、認知症や権利擁護に関する講話や啓発活動を重点的におこない、地域包括ケアの実現に向けて、職員一丸となり取り組んでまいります。

常磐・遠野地域包括支援センター ☎43-2151

常磐支所内

常磐・遠野地域包括支援センター ☎43-2151

～ 安心して住み続けられる町づくりを地域の力で！～

誰もが安心して小川町で住み続けられるように、地域包括ケアシステム構築の一環として今年度は認知症対策の更なる推進を目指してまいります。認知症サポーター養成講座を始め、住民の皆さんが集まる機会を捉え「認知症予防」や「早期の発見・対応」の必要性について、広く啓発活動に取り組みます。また、介護を担っているご家族が、気軽に相談したりピアサポートが出来るしくみづくりに地域の皆さまを始め関係機関と協働しながら、取り組んで参ります。



小川支所内

小川・川前地域包括支援センター ☎83-1411

～ より暮らしやすい地域づくりのために ～



個別に寄せられる相談対応を通し、関係機関や地域関係者との連携を深め、個々の課題解決を行うとともに、その方のみならず、地域で暮らす方々が暮らしやすい地域作りについて、皆さんと一緒に考えていきます。2030年には高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。子どもたちも含めた幅広い世代の方が認知症に対する正しい知識と理解の促進ができるよう、地域のイベントやつとこの場等で認知症に対する啓発を行っていきます。

総合保健福祉センター2階
内郷・好間・三和地域包括支援センター ☎27-8660

～ 関係機関と協力し、誰もが安心して暮らせる地域へ ～

勿来・田人包括では介護関係者等と協力し住民に向け金山地区にて「認知症声かけ訓練」を実施し、声掛けのポイントを学んで頂いた他、マルトの経営幹部の方々が認知症サポーター養成講座を受講され、認知症に対する理解を周知しました。
昨年度から障がい者相談支援センターが設置されたため、今年度は高齢の方だけではなく障がいを持つ方を含めて支援ができるよう関係機関と協力、連携していくことで地域住民が安心して暮らせる地域づくりを行っていきます。



勿来支所内

勿来・田人地域包括支援センター ☎63-2140

～ 住み慣れた四倉・久之浜大久でいつまでも！～

平成25年度より取り組んでいる、小学校・中学校での「認知症絵本教室」において、今年度は四倉・久之浜大久地区中地域ケア会議と協働し、絵本教室で学んだ実践の場として小学校にて父兄も交えた「認知症声かけ訓練」を予定し、子どもから親世代に向け認知症についての啓発を行います。また、高齢者の低栄養が問われているなか、地域関係者の方々と協力し「食の充実」に向けての取り組みをしています。「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる」そんな地域をめざし関係者の皆さまと連携し日々取り組んでいきたいと思っております。



四倉支所内

四倉・久之浜大久地域包括支援センター ☎32-2115

～ 子どもから障がい者、高齢者まで垣根を越えた交流づくり ～

子ども、障がい者、高齢者、誰でも自分らしく住み慣れた地域で暮らすことができる。そんな地域を目指して日々活動しています。
玉川地区の「ふれあいの会」では地域の方と幼稚園児と一緒に楽しく体操をしており、港ヶ丘地区では障がいのある方も参加できる交流の場として「冷泉寺いきいきサロン」が始まりました。
また、分野を超えた支援の実現のために、地域のケアマネジャーに向けた勉強会で障がい者サービスについての講話を盛り込む予定です。今後も、地域の皆さまと共に、誰もが過ごしやすい地域づくりのために精一杯取り組んでいきます。



小名浜支所北分庁舎

小名浜地域包括支援センター ☎53-4760

いわき基幹相談支援センター・いわき障がい者相談支援センター

～ 『ともに生きる社会』の理念の下に～



障がい者相談支援センターが地域包括支援センター内に設置されて、1年が経ちました。障がいのある人が地域で暮らし続けていくためには、障がいの理解を広げていくことや、各支援機関が繋がり支えていく体制を作っていくことの必要性を改めて感じました。

今年度は、障がい者相談支援センター毎のエリアで、地域の方々や関係機関の方々と地域会議を開催し、課題の共有や支援ネットワーク作りに取り組み、障がいのある人もない人も共に生きる地域社会を目指し、地域の中での解決を見出していきたいと計画しています。

お問い合わせ

- いわき基幹相談支援センター ☎22-1130
- いわき障がい者相談支援センター
- 北 部 地 域 ☎22-1132
- 小 名 浜 地 域 ☎92-0415
- 勿 来 ・ 田 人 地 域 ☎63-2111
- 常 磐 ・ 遠 野 地 域 ☎43-2111
- 内郷・好間・三和地域 ☎27-8660